

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代医療史	NLA21_005	選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏	C302	yasuhiro_yamamoto	水曜 9:00～14:30		
授業の目的・概要	現代医療の歴史を学び、医療がどのように進歩し、その過程でどのような問題が生じたかを知る。そして、よりよい未来の医療、さらには社会をつくるために、何が必要か理解し、実践できる能力を身につける。 また、講義内容より「何を学ぶのか」が重要であることを体験すること。合わせて基礎演習で学習したレポートの書き方を実践する。 講義は60分くらいとし、その後「この内容から何を学ぶか」を議論する。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> ゲルブワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク (自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	教科書を指定しないので、講義をしっかりと聞き、疑問点は質問して講義の中で質問すること。各回の授業で何を学ぶか整理すること、15回の授業を通して、科目として何を学んだかを意識して学習すること。				
教科書	指定しない。				
参考書	指定しない。講義中に参考図書を紹介する。				
外部教材	使用する予定はない。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	科学とは何か説明できる。	HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)			
②	人間とはどのような生き物か説明できる。	HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)			
③	社会の進歩はどのように起こるのか説明できる。	HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)			
④	人間が安定した社会を維持するためには何が必要か説明できる。	HSU (1)、(2)、(3)、(4)、(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション。現代医療史を学ぶ理由。	講義	これから何を学ぶべきか確実に理解すること。		4
2	人間とはどのような生き物か？	講義	人間と他の動物の違いを説明できるようにする。		4
3	農耕の開始は人類を幸福にしたのか？ 一人類と病気の戦いの始まり	講義	農耕の開始が人類にもたらした光と影を説明できるようにする。		4
4	医学とは何か？ - ヒポクラテスの思想 -	講義	なぜヒポクラテスが医学の祖と考えられているのか説明できるようにする。		4
5	中世の医療 - 真実とは何か -	講義	なぜ人類はガレノスの著書を無批判に受け入れ、その結果何が起きたのか、それを打破できたのはなぜか説明できるようにする。		4
6	医療から医学へ - 病気とは何か -	講義	どのような思考法の登場によって医学が誕生したのか説明できるようにする。医療と医学の違いを説明できるようにする。		4
7	実験医学のはじまり 感染症に対する人類の逆襲 - 科学的思考法とは何か -	講義	科学的思考法とはどのような思考法であるのか復習する。実験することの意義を復習する。		4
8	麻酔の発明 - あなたにとって価値あるものとは？ -	講義	医療の進歩に目覚ましい貢献をした麻酔の発明。その背景を知り、医療を進歩させる原動力を説明できるようにする。		4
9	日本の医学 - 麻酔の発見は日本である -	講義	西洋医学のみではなく日本でも医学は進歩していたことを説明できるようにする。		4

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

10	レントゲンの発見	講義	レントゲンの発見の意義と、実験成果が得られる過程を説明できるようにする。	4			
11	抗生物質の発見	講義	抗生物質発見の意義と、実験成果が得られる過程を説明できるようにする。	4			
12	ナイチンゲールの活躍	講義	ナイチンゲールがなぜ歴史に名を残したのか説明できるようにする。	4			
13	DNA二重らせん構造の発見	講義	これまでの講義内容の総集編となる。この研究成果を得るまでであった出来事をこれまでの講義内容と比較する。	4			
14	現代医療の光と影 - そうまでして神になりたいのか -	講義	現代のテクノロジーの進歩は人類に何をもたらす可能性があるのか考察する。	4			
15	まとめ。レポート作成方法説明。	講義	レポート作成方法を確認する。	4			
試	レポート						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	40	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	40	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	レポートは指定した書き方で作成すること。不備をコメントして再提出してもらいます。1回目で合格したら S,2 回目での合格を A、3 回目での合格を B,4 回目での合格を C 判定とします。			減点理由のコメントをつけてレポートを返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他担当教員	なし。						
教員の 実務 経験	医師として 30 年以上の経験を有する。						
実践的授業の内容	講義は 60 分くらいとし、その後講義内容から何を学ぶかを議論する、自分の体験、本で読んだこと、これまでに学習したことを根拠として自分の意見を述べるができるようになることを目標とする。自由に発言してください。						
そ の 他	質問はチャットでも受け付けます。即答はできないこともありますが、翌日中には返信するようにします。						